

伝教大師最澄没後1200年記念企画展

仏像を なおす

令和4年(2022)

7月23日(土)から9月4日(日)

開館時間 午前9時～午後5時 (入場は午後4時30分まで)

休館日 月曜日、8月12日(金)

[主催] 大津市・大津市歴史博物館

[特別協力] 比叡山延暦寺・日吉大社

[協力] 桑原文化財修理所

[後援] 朝日新聞大津総局・radio・NHK大津放送局・共同通信社大津支局・

京都新聞・KBS京都・産経新聞社・時事通信社大津支局・

(株)ZTV滋賀放送局・中日新聞社・日本経済新聞社大津支局・

毎日新聞大津支局・読売新聞大津支局

[観覧料] 一般/500円(400円)

高大生/300円(240円)

小中生/200円(160円)

※()内は前売、15名以上の団体、大津市内在住の65歳以上の方、大津市内在住の障がい者の方、市内在住の介護保険の要介護者・要支援者の方の割引料金(証明書等をご提示ください)。

※前売り券は、大津市内観光案内所(大津駅・石山駅・堅田駅前)で6月25日～9月4日まで販売。

 **大津市歴史博物館**

〒520-0037 大津市御陵町2-2 TEL.077-521-2100

<https://www.rekihaku.otsu.shiga.jp/>



伝教大師最澄没後1200年記念企画展

仏像を なおす



十一面観音立像

西教寺蔵 平安時代 初出陳

最近発見された西教寺最古の仏像です。体部は当初の彫りを残していますが、面部は近世に修理されています。



天衣 (重要文化財 護法善神立像)

圓城寺(三井寺)蔵 平安時代 初出陳
亡失と思われていた平安時代当初の天衣が、近年堂内から見つかりました。

延暦7年(788)に伝教大師最澄によって比叡山寺(比叡山延暦寺)が創建されて以降、大津は日本仏教の中心地として膨大な質量の仏像や神像が造られ、現在も彫刻の指定品の数が京都市と奈良市に次いで3番目に多い市として知られています。これらは、数多く造立されただけでなく、何度も修理や復興によって「なおす」、つまりもとの良好な状態に戻すことが行われてきたからこそ、現在にその姿を伝えています。

本年は、伝教大師最澄が、弘仁13年(822)に没して1200年にあたります。それにあわせて、延暦寺では根本中堂をはじめとした多くの文化財の修復を行い、数々の発見や事実の見直しがありました。本展では、市内の寺社に現存する、修復や復興関係の史料や宝物を展示し、破損や亡失された仏像や神像がなおされてきた歴史を紹介します。

【展示構成】

1. 仏像・神像をなおす・①修復、2. 仏像・神像をなおす・②復興、3. 比叡山延暦寺根本中堂の仏像をなおす、4. 仏像をなおした記録(叡山文庫史料)、
5. 仏像・神像をなおすときのひな型



不動明王立像 (護法童子像内納入品)

比叡山延暦寺蔵 鎌倉時代

最近の修理で、護法童子像の頭部内から発見されました。全国的に類例のほとんどない、金色の不動明王です。



十二神将像 (未神)

比叡山延暦寺蔵 鎌倉時代 初出陳

最新の研究により、京都の幻の古寺、元応寺の旧像と判明。修復のため解体した姿のままで展示する、最初で最後の機会です。



神像立像 (日吉大社百太夫神)

仏像・神像ひな型 龍谷大学龍谷ミュージアム保管 江戸時代

江戸時代の仏師の手控えとして作られたもの。現在では知れない日吉大社の御神体の姿を、リアルに観ることができる貴重な資料です。特に牛御子神は、同神の姿を伝える唯一のものです。



神像坐像 (日吉大社牛御子神)



狛犬



獅子

獅子・狛犬(西本宮) 日吉大社蔵 桃山時代 初出陳

桃山時代を代表する仏師、七条仏師康正一門によって造立されたものです。像高が約130センチもあり、我が国最大級の獅子・狛犬です。

企画展

関連講座

時間 いずれも14:30~16:00

場所 歴史博物館講堂

※有料 ※事前申込が必要(詳しくは天津市歴史博物館まで)

- ① 7月29日(金) 「戦国期の日吉社の復興」 嵯峨井 建 氏 (京都國學院講師)
- ② 8月6日(土) 「七条仏師の仏像ひな型」 丹村 祥子 氏 (龍谷大学世界仏教文化研究センター客員研究員)
- ③ 9月4日(日) 「近世彫刻史における山門復興造像について」 大崎 留生 氏 (美術史家)



京阪電車石山坂本線「大津市役所前」駅より徒歩約5分
JR湖西線「大津京」駅より徒歩約15分
無料駐車場(乗用車約70台)



大津市歴史博物館

〒520-0037 大津市御陵町2-2

TEL.077-521-2100 <https://www.rekihaku.otsu.shiga.jp/>